

2022年2月24日 突然 ロシアのウクライナ侵略が始まり、6ヶ月もたちました。病院、学校、スーパー、住居、鉄道や駅、畑を破壊し、原子力発電所を占領しています。

2014年 ロシアが、クリミア半島（ウクライナ南部）を攻撃し、併合しました。次は本土もとりか。各地の戦争の報道を聞くと、住んでいる人たちに生命だけは保ってほしいと願う。

ロシアのウクライナ侵略いつまで？



ポーランドでプーチン・ロシア政権に抗議するロシア人の若者のことを赤旗新聞で読みました。母国で過酷な弾圧を受けても政権に抵抗する同胞に敬意を持ち、「ウクライナの人びとは侵略をやめさせるために声を上げ続けています。ロシア国内にも危険を顧みず、プーチンにあらがう人びとがいます。私も戦争反対を訴え続けます。それが正しいことだからです」若者は希望。世界の声で戦争を止めたい！（弁天在住：K・M）

ぜひご参加下さい

☆日本共産党綱領を読む会
9月18日（日）午後2時～
井原宅（東野2-8-13）
Tel: 353-4730

☆アウトドア企画第4弾「県立船橋市民の森」

11月13日（日）
午前10時

新浦安駅改札前集合
真鍋Tel: 352-7735

☆九条の会 トークセッション
「憲法と経済安保のゆくえを考える」

9月25日（日）午後2時から
富岡公民館第1・第2会議室

☆みせ麻里市議のかけあひ記☆

8月終わりに2003年の一斉地方選挙の県議選に取り組む赤旗記事を井原さん宅にて見せていただきました。



当時はイラク戦争中でした。

他の候補がイラク戦争はやむをえないという中、『戦争の即時中止を』を訴える県議候補は日本共産党の小松敦さんだけでした。

今、ロシアのウクライナ侵略止めよ！平和で戦争のない社会を！と訴え続けています。7月14日以降から憲法違反の『国葬中止を！』とマイクに力が入ります。

9月議会は、オスプレイ問題、保育園の不正問題、消防力について一般質問します。

写真は「暮らしと平和を守る共産党の姿を、多くの人に伝えたい」と活動している20代の仲間たち、50代の井原めぐみさん（市議初当選）、37歳の私。

【編集後記】

～沖縄の文化に関心を寄せて～



今NHKで放映している朝ドラ「ちむどんどん」をご覧になっていませんか？始まりの映像。防風林を抜けると眩しいばかりの空、海。まさに沖縄の自然を感じる風景です。私はその映像だけで、「ちむ（肝）どんどん」しています。

そして自分の十代の頃を重ね合わせて懐かしんでいます。祖国復帰前に一緒に上京した幼なじみの親戚が鶴見に住んでいました。訪ねた時「ここはトル沖縄と呼ばれているんだよ」「道を歩いていて小石を投げると「アガ～」（いたい）と方言が返ってくるくらいさー」「それだけウチナー出身が多いと言うわけさー」と笑ったものです。しかし差別もあったようです。

友人から「ちむどんどん」で丸い刻印が押してある紙を燃やすシーンはなに？と聞かれました。「ウチカビ（茶色の紙）はあの世のお金。冥銭といい、あの世で金に困らないように燃やしてあの世にお金を送ってあげるために燃やしているの。お酒をかけて消すの」友人は「え～」と驚き「宗教文化が違うね」と感動していました。

2001年の朝ドラ「ちゅらさん」放映でゴーヤ食文化も全国へ広がりました。テレビの全国放映を通して、基地の問題、なお言語、芸能、料理など広く文化を取り上げて、多くの方に感じてほしいと想います。（舞浜在住：T・I）

補聴器と白内障内レンズの市の助成制度改悪！所得制限なしから住民税非課税の方にのみ



白内障内レンズは1992年4月から、補聴器は1995年4月から助成を実施してきました。全国的にも早期からの実施と所得制限をかけていないこと、助成額の上限が当初から3万5千円であることから注目されていた制度でした。今回突然対象者を10月1日から住民税非課税の方に限定されると発表されました。

これまで浦安の財政を支え、制度の実現のため頑張ってきた市民が高齢になり、補聴器や白内障の手術が必要になってきたら、いきなり対象を狭めるなんて!!

～俳句コーナー～

☆だっこの手
バスの吊革 追いさぐる

☆絵日傘や
たためば色も沈みけり

☆サンダルに
足ゆび緊めて 物を干す
（富士見在住：J.S.）



核兵器廃絶は人類の悲願

ロシアによるウクライナ戦争の中で、第二次世界大戦後、かつてない核兵器の脅威が高まっている。今年6月にウイーンで開かれた核兵器禁止条約締結国会議に、アメリカに遠慮してオプザーバー参加すらしなかった日本政府。8月のNPT再検討会議ではロシア1国の反対で最終合意文書が採択できなかった。ロシアは論外だが、唯一の戦争被爆国なのに、核兵器の全面禁止に踏み切らない日本政府の対応は世界を失望させている。



核兵器を禁止する協定について交渉する2017年3月の国連会議の会場。空席の日本政府席に置かれていたのは、「あなたにここにいてほしかった」（#wish you were here）と書かれた折り鶴。（写真は会議に参加した志位和夫委員長長のTwitterより）